

2023年

岩手県消費者大会

消費者大会は年1回開催され、県民の皆さんの学習・交流の場です。どなたでも参加できます。

10月24日(火) 10:00~15:00 アイーナ7階・8階

(盛岡市駅西通1-7-1 TEL 019-606-1717)

**参加
無料**

◆午前:分科会 10:00~11:45(裏面をご覧ください。)

◆午後:全体会 13:00~15:00(小田島組☆ほ~る)

1. 基調講演

「社会の真実の見つけ方 ~私たちの暮らしを守るために~」

講師：国際ジャーナリスト **堤 未果さん**

政府は、世論を二分している問題や政策の大転換にもかかわらず次々と閣議決定し、防衛財源確保法や原発推進5法、改定マイナンバー法など成立させています。また、企業の内部留保は過去最高を記録しているのに賃金は上がらず、コロナ禍や物価高騰で消費は低迷、その上、予算ありきの政策に増税論が持ち上がっています。すべてが私たちの暮らしに関わることなのにしっかりと国会審議がされたとは言えず、国民に問うこともありません。

「堤未果のショック・ドクトリン 政府のやりたい放題から身を守る方法」の著者で知られる堤未果さんに、おかしい日本の現状と身を守るために私たちはどうすればいいのかをお話していただきます。講演を聞いてみんなで考え合しましょう。

《堤未果さんのプロフィール》

■国際ジャーナリスト。NY州立大学国際関係論学科卒業。NY市立大学院国際関係論学科修士号。国連、米国野村證券等を経て現職。米国と日本を中心に政治、経済、医療、教育、エネルギー、食、デジタル、農政など、現場取材と公文書分析による調査報道を続け、各種メディアで発信。「ホンマでっか?!TV」「羽鳥のモーニングショー」ほかメディア出演多数。「アメリカ弱者革命」で日本ジャーナリスト会議黒田清賞。「ルボ貧困大国アメリカ」で中央公論新書大賞、日本エッセイストクラブ賞。WEB番組「月刊アンダーワールド」キャスター。

■主な著書に「社会の真実の見つけ方」(岩波ジュニア新書)、「日本が売られる」(幻冬舎新書)、「デジタルファシズム」(NHK新書)、「株式会社アメリカの日本解体計画」(経営科学出版)、「ルボ 食が壊れる」(文春新書)、など多数。海外でも著作翻訳多数。



2. アピール提案

※参加は事前申し込みが必要です。裏面の申し込み用紙をご利用ください。

主催：岩手県消費者大会実行委員会(16団体)

後援：岩手県・盛岡市

【お問い合わせ】 岩手県消費者団体連絡協議会

〒020-0690 岩手県滝沢市土沢220-3

TEL 019-684-2225 FAX 019-684-2227

《会場案内図》



分科会紹介 10:00~11:45

会場：アイーナ7階・8階

「身近なくらしの問題～あなたならどうしますか？」関心のあるところに参加して考え合いましょう！

第1分科会 『社会保障問題』 ～企画運営団体～ ・盛岡医療生協 ・I女性会議 ・新日本婦人の会岩手県本部 会場 7階小田島組☆ほ～る	「誰もが安心して暮らせる老後を目指して～介護保険制度の改善を」 介護保険制度は施行から22年が経過し、必要なサービスが利用できない実態や、介護事業所の深刻な人手不足など課題が山積しています。また介護保険料は全国的に右肩上がり、制度発足当初の約2倍となっています。誰もが安心して介護を受けられる制度への改善が必要です。みなさんで学び、行動しましょう。 ◇助言者 盛岡医療生活協同組合介護事業部（予定） ◇話題提供 ◇意見交流
第2分科会 『消費者問題』 ～企画運営団体～ ・消費者信用生協 ・岩手県退職女性教職員の会 ・岩手県労働者福祉協議会 会場 7階701会議室（定員36名）	「高齢者を狙う悪質商法～身近な危険から身を守る術を考える」 悪質商法による高齢者の被害が絶えません。高齢者が悪質商法のターゲットとされた場合、興味をひきやすい健康や趣味にまつわる誘い、老後の経済的な不安に付け込んだらもうけ話など、高齢者の生活のあらゆる場面を狙っています。高齢者が安心した生活を送るには、危険から身を守る術を知ること、そして家族や周りの方が注意をして見守ってあげることが被害を防止するためにも大切です。現在の悪質商法の手口やその対処法について、学習を深め一緒に考えてみましょう。 ◇助言者 藤原隆博さん（岩手県立県民生活センター次長） ◇意見交流
第3分科会 『格差・貧困問題』 ～企画運営団体～ ・岩手県学校生協 ・いわて生協 会場 7階702会議室（定員36名）	「子どもの貧困の現状を知り、私たちにできることを考えよう」 日本の子どもの7人に1人が貧困状態にあるとも言われ「子どもの貧困」は社会問題にもなっています。ひとり親世帯の増加や、コロナ禍での親の収入減少などにより、この問題はさらに広がり深刻さを増しています。岩手県の「子どもの貧困」はどのような状況なのでしょう。また、それによってどのような問題が起こっているのでしょうか。普段はなかなか見えにくい現状や問題点を知り、次世代を担う子どもたちが明るい未来を描けるよう、私たちに何ができるのか一緒に考えてみましょう。 ◇話題提供 山屋理恵さん（子どもの居場所ネットワークいわて共同代表） ◇意見交流
第4分科会 『くらしの問題』 ～企画運営団体～ ・岩手県母親大会連絡会 ・岩手県労働生協 ・岩手県母と女性教職員の会 会場 7階703会議室（定員36名）	「マイナンバーカードのギモン!？」 政府は昨年10月、突如として「2024年度秋に健康保険証を廃止し、マイナンバーカードに一本化する」方針を示し、国民の混乱と怒りを招いています。しかも、無理なヒモ付けによるシステムの不具合や情報漏洩が次々と明らかになっています。任意のはずのマイナンバーカードを強制し、保険証をなくすことは国民の生命と健康を脅かします。今ある保険証を残すとりくみを進めるため、改めてマイナンバーカードについて学びましょう。 ◇助言者 高橋貴志子さん（岩手県社会保障推進協議会） ◇意見交流
第5分科会 『食の問題』 ～企画運営団体～ ・JA岩手県女性組織協議会 ・岩手県生協連 ・岩手大学生協 ・県立大学生協 ・盛岡大学生協 会場 8階810会議室（定員36名）	「食べものはいつでも自由に入るの？～苦境に立つ酪農と食料確保を考える～」 温暖化による異常気象は生産量の減少から輸出制限を招き、ロシアによるウクライナ侵攻や円安は食料の高騰を引き起こしています。さらに世界的な「肥料」不足は、食料生産そのものを揺るがしています。日本も、肥料や飼料、農業資材の高騰が続き生産者、特に酪農畜産は苦境に立たされています。酪農を例に今生産の現場では何が起こっているのかを知り、食料の安定的確保と、消費者も安心して適正な価格で購入するためにはどうあるべきなのか考えてみましょう。 ◇助言者 溝渕郁夫さん（湯田牛乳公社代表取締役） ◇意見交流

参加申し込み：参加は事前申し込みが必要です。FAXまたはメールでお申し込みください。
【FAX】019-684-2227 【メールアドレス】sn.isyodanren@todock.coop

※全体会は、当日Zoomでの視聴参加も可能です（定員100名）。視聴ご希望の方は、「お名前・電話番号・団体名・Zoomでの視聴希望」とご記入のうえ、sn.i04553mm@todock.coopまでメールでお申し込みください。後日、ZoomのURL、ID等をお知らせいたします。

締 切 日：10月17日(火) ※定員（300名）になり次第締め切らせていただきます。

お 名 前	ご連絡先（電話番号等）	所属団体等	参加希望に○をつけてください		備考
			全体会	分科会	
				1. 社会保障 2. 消費者 3. 格差・貧困 4. くらし 5. 食	

- * どなたでもご参加いただけます（参加無料）。お気軽にお申し込みください。
- * FAXでお申し込みの方は、参加をお断りする場合がありますのでご連絡をさせていただきます。
- * いただいた情報は消費者大会参加集約の目的以外には使用いたしません。
- * 昼食は各自でお願いいたします（お弁当は用意しません）。ご持参の場合は「小田島組☆ほ～る」をご利用ください。
- * 新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、オンライン講演、または中止となる場合があります。あらかじめご了承ください。